

# 朝日新聞

## 「ついのすみか」ツアー 盛況

### ▲高齢者専用賃貸住宅

国が普及を進める高齢者専用賃貸住宅（高専賃）を知ってもらおうと、高齢者向けの情報誌が9日、神奈川県小田原市の高専賃を内覧するバスツアーをした。都営団地などに住むお年寄りら20人が参加して最新の高齢者住宅の現状を学んだ後、名所を回って参加費は千円。物件を管理する不動産会社が費用を補填（ほてん）し、「学べて楽しめる」格安の旅が実現した。

高専賃は、高齢者向けに整備され、配食サービスなどを提供する賃貸住宅。契約を敬遠され

情報誌が格安で旅企画

がちな高齢者のため、国などが普及を図っている。

ツアーは情報誌「禪(たすき)」(千代田区)が企画し、これが2回目。訪れた高専賃は国道沿いにあり、海が一望できる。部屋には手すり、緊急通報装置などがあり、1階はデイサービス施設になっている。参加者らは「最高の環境だ」と声を上げた。その後は小田原城やかまぼこ会社を見学。バスの中はカラオケや漫談で盛り上がった。

1回目のツアーの口コミから契約につながったケースもあ

戸山団地住人も参加

り、不動産会社の担当者は「こういう内覧ツアーはこれから増えると思う」と話す。

参加者の半分近くは、高齢者が多い都営戸山団地（新宿区）の住人。同団地などで孤独死をなくすための活動をしているNPO法人「人と人をつなぐ会」が参加を呼びかけた。

会長の本庄有由(ありよし)さん(72)は「戸山団地は棟によって入り口にスロープがないなど、バリアフリー化が完全ではない」と指摘。「最新福祉住宅を見て勉強し改修で要望を言えるようになってほしい」と話した。

今後のツアーの問い合わせは禪の竹尾さん(080・4089・4111)へ。